

# ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第34号  
古牧だより通算128号

## 福祉特集

□発行所 古牧地区住民自治協議会  
□発行者 湯沢角雄  
□編集 福祉部会編集委員会  
□印刷 博光印刷株式会社

### 福祉自動車

## 「あいりーん号」が新車になりました

本年8月8日、新しい福祉自動車「あいりーん号」に買い替えし、古牧公民館駐車場におきまして式典がおこなわれました。

福祉自動車「あいりーん号」は平成15年10月に導入され、約8年の間、古牧地区の歩行困難で通院等に不自由な生活をされている皆さんの生活の足として活躍してきました。

車両の老朽化から、この度買い替えを行うこととしたものです。

今日までの福祉自動車活用のデータを見てみましょう。

- 走行距離：13万5千キロ（地球3回り強）
- 利用登録会員：160名
- 利用者数：9000名/平成15年10月から  
23年7月まで  
年平均2000件強の利用
- 運転協力員：16名



### ✧ 新車お披露目の式典 ✧

新車お披露目の記念式典は、公民館に隣接の駐車場において青空の下、来賓の皆さま、各区区長ほか関係者列席のもと、盛大におこなわれました。

午前中に武水別神社にて安全祈願をおこなった新車を前にして、今日まで福祉自動車の導入にご尽力された役員や運営にご苦労されました皆様から感動のメッセージを頂戴しました。

### ✧ テープカット ✧

歴代の社会福祉協議会の役員の方々をはじめ、運転協力員の代表、利用者代表、住民自治協議会の役員各位によるテープカットがおこなわれました。



### ✧ 花束贈呈 ✧

運転協力員を代表して2名の皆さまに永年の労に感謝して、花束を贈呈しました。



協力員さんから力強い「安全運転」宣言がおこなわれ、新たな心でこれからも益々地域の皆様に愛されるあいりーん号であるように努めてゆきますと、心温まるお話がありました。

『古牧福祉だより』は、「ぶらネットこまき」福祉特集になりました。福祉の情報を掲載していきますのでよろしくお願いいたします。

## ✧ 利用者からのメッセージ ✧

8年間、ずっと“あいりーん号”にお世話になってきましたが、運転手さんの温かな親切が心にしみ、とてもありがたい。よくここまで頑張ってくださいって私を助けてくださって感謝です。役員の皆さんのお陰であり、心をこめて御礼申し上げるとの感動の言葉を述べられました。



## ✧ 参加者皆さんで記念撮影 ✧



## ✧ あいりーん号出発 ✧

皆さんの盛大な拍手の中、新車「あいりーん号」は利用者の代表を乗せて出発しました。

あいりーん号はこれからも地域みなさんに親しまれ、生活の足として働いてくれることでしょう。



## ✧ 座イスを古牧公民館へ寄贈しました ✧

福祉自動車買い替え記念式典のおり、レンタルで座イスを準備致しましたところ、大変好評をいただきましたので、身体障害者の皆さんも公民館で行われる行事に積極的に参加されることを期待し福祉部会では3脚購入し古牧公民館に寄贈しました。



## 古牧地区ボランティアセンター設立に向けて準備をはじめました

私たちの地域にボランティアセンターを創ろうと福祉部会内に検討プロジェクトチームをつくり検討・準備を進めていますので、その状況をお知らせします。

### 地区ボランティアセンターの必要性

長野市社会福祉協議会から「地区ボランティア活動拠点整備事業」について説明を受け福祉部会が所管部として設置の是非を含め検討を重ねてきました。

地区ボランティアセンター設置の是非について検討することとなったきっかけは前述のとおりですが、私たちは主体性を持って検討した結果、少子高齢化、核家族化の進展等による高齢者の一人住まいの増加等、お隣近所のつながりを大切にす地域社会を創ってゆく、その必要性は衆目の認めるところであろう、という認識に基づき「古牧地区ボランティアセンター」を設置したいとの意見集約を行うに至りました。

### 市の地区ボランティア活動拠点整備事業概要

1. 地域密着型のボランティア・ニーズ増加への担い手不足の深刻化への対処
2. ボランティア人材養成機能強化のため、ボランティア活動拠点整備事業をした場合経費の一部（上限30万円）を助成
3. 助成金交付対象の条件は、「地域福祉活動計画」が策定され、且つ「福祉ワーカー」が設置され

### 健康食講習会を開催しました

8月4日、三陽保健センターにおいて、酢を使った健康食の講習会を開催しました。

定員を超える参加者でとても盛況でした。

栄養士の巧みな説明に加え、実際に作って食べてみる講習会であったことが良かったと大変好評でした。

時節柄にマッチした酢を使った高齢者も家庭で簡単に作れる料理ということも好評でした。



ていること。（古牧住自協はこの条件を満たしています。）

### 設置に向けて検討している事

#### 1. ボランティアセンターの事業

設置当初、3～5年後に分けて検討しています。住民に直接、福祉サービス（例えば生活支援）を提供するセンターとするか、あるいはボランティア・ノウハウの提供のような情報提供型センターか等。

#### 2. センターの規模

センターの規模について、例えば常駐体制の要員や組織をどうするか。福祉部会員の係わり方等検討しています。

#### 3. センターの設置場所

将来、人々が気楽にいつでも集うことのできる場所をどう確保するか。当面は古牧公民館内部の場所を前提に準備を進めています。

#### 4. その他の検討課題

- ① 区長並びに福祉関係団体の皆さんとの協議意見交換の実施
- ② 地域住民の皆さまへの広報活動
- ③ 住民自治協議会組織における当センターの位置づけ。組織の在り方
- ④ 24年度からのセンター事業の予算措置

ボランティアセンター設置については多種多様な意見があり、本件は地域にとり大変大きな且つ重要なテーマです。より多くの皆さんに関心を持っていただくことにより、古牧地域にとりまして望ましいボランティアセンターとして生み、育て、成長させてゆかなければなりません。

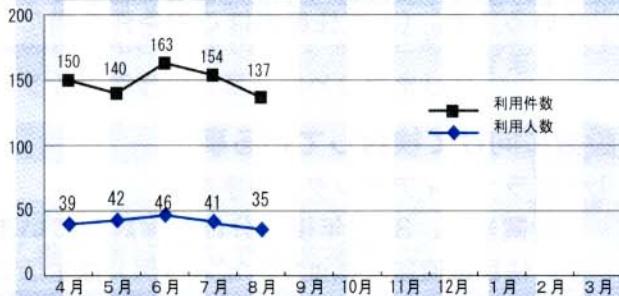
皆さんの温かなご支援ご協力をお願いします。



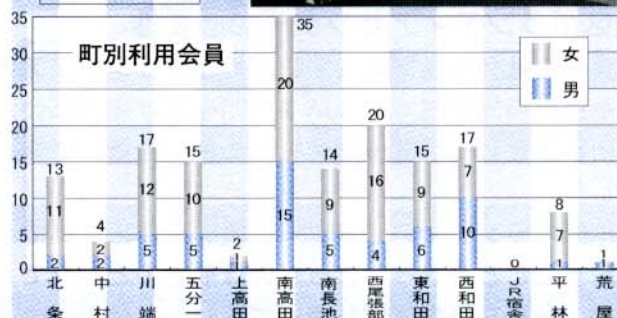
# あいりーん号通信 No.19



**利用状況** 月別利用件数 (片道：1件)



**登録状況**



## あいりーん号が新しくなりました!!

8月8日の祝賀会に先駆け、5日(金)運転協力員が集まり日産から新車の説明を受けました。“車いす乗降リフト”・“助手席スライドアップシート”という機能は変わりありませんが、少々操作方法が変わったので、それぞれ実際に動かしてみて担当の当日すんなり運行ができるようにしました。

後部座席の足元が狭いという旧車両には問題点がありましたが、新車両ではそれも解決し、乗り心地が良くなりました。

そのあと平成15年10月から8年間で13万5千キロ走った“あいりーん号”と皆で記念撮影をしてお別れをしました。新あいりーん号は8月9日より運行しています。公共交通機関を利用して通院できない程度に歩行困難になった方、ご利用ください。



後部座席の足もとが、ゆたっりになりました

あいりーん号2号に  
対面して、すべての機能が最新の便利さに変わり  
少々不安ですが慣れをモットーに安全運転に頑張りたいと思います。

新車を入れていただきありがとうございます。これからは安全運転で車を大事にするしかありません。身のひきしまる思いです。

基本的には、旧あいりーん号との差は少なくむしろスペックダウンの感あり。よって安全運転は可能とされます。

とにかく新しい物ですので、無事故送迎に対しては安全・安心感を持ってもらえるようにしたいです。

新車は色々新しい装備でよいと思います。

旧あいりーん号には8年間乗り続けてきて大変愛着はあったのですが、エンジン音・クラッチ等から異音も発生してきたのでタイミング的には良かったと思います。あいりーん号2号は最新の機能が見られ安全機能がよいと思います。

古い車好きの自分は新しい車の機能がより一層珍しいもの感じられます。この車に乗る時は、気持ちもまた新鮮になり、より安全運転に心がけたいです。

あいりーん号2号、初めて見せてもらい旧あいりーん号に愛着を持ちつつ心を新たに「安全・安心」とを心に決め皆さんに愛されるようなあいりーん号にしたいです。



旧“あいりーん号”とお別れの記念撮影

左から、小林静子ワーカー・原田武夫さん(東和田)・飯田てる子さん(川端)・三浦岳史さん(上高田)・倉島進さん(東和田)・金澤嘉秋さん(東和田)・名取福祉健康副部長・小山六三郎さん(南高田)・小林邦利さん(平林)・小林昭雄さん(上高田)・倉島隆夫さん(西尾張部)・小林ひと美コーディネーター

福祉自動車・福祉に関する  
お問い合わせは...

**古牧福祉サービスセンター** (古牧支所内) **244-5522**

コーディネーター 小林ひと美  
福祉ワーカー 小林 静子



3.11、あの日から私たちの身の周りに新たな変化が出てきているように感じる。被災地の復興に向けて、「ボランティア」の善意が被災された皆さんの大きな心の支えとなっていること。お隣同士、地域の人々の絆が大切なことを痛感する。

一つのパンを皆でわけあって生きていこうとする日本人を、世界の国々の人々が称賛している。日本人に生まれたことに誇りを持ちたいと思う。(T・I記)